

理事長あいさつ

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 植村信吉

2018年は、日本の各地で災害が続発した年でした。改めて日本が「災害大国」であることを思い知らされた年でもあります。

6月18日人口密集地の大阪で大阪北部地震が起こりました。震度は6弱。しかも発生時刻は通勤時間帯でした。発生直後、どう動けば良いのか問われたと思います。

また、西日本を中心に大きな被害を生んだ西日本豪雨（平成30年7月豪雨）。特に被害の大きかった岡山県真備地区では、犠牲になられた方の約9割が高齢者であったこと、洪水ハザードマップの浸水想定区域と実際の浸水域がほぼ同じであったことが報告されています。私ども奈良県防災士会も現地へ支援ボランティアとして入りましたが、大きな課題を突き付けられた気がします。

9月6日に起こった北海道胆振地震は震度階級が最も高い震度7を記録しました。震源地での家屋倒壊や山崩れなどで多くの方が犠牲になったことや、札幌市内では液状化での被害が顕著であったことは記憶に新しいところです。また、地震発生直後には全道停電が起こりました。「ブラックアウト」という言葉を初めて耳にした方も多いのではないのでしょうか。

このような状況の中、私ども奈良県防災士会には自治体や教育委員会・学校関係者、社会福祉協議会及び自主防災会、各種団体からの問い合わせや依頼が多数舞い込んでおります。しかし、現状では全てのご要望に応えきれっていません。

災害が連続して発生したことに大きな要因があると考えておりますが、同時に、会員の皆さま一人ひとりが地域や職場で地道な努力を積み重ねて来られた結果でもあると考えており、この県民の方々のご要望にどう応えていくのが課題であります。

これまでのように、個別の依頼に対応することだけで良いのか、これまでの活動が本当に地域防災力向上に役立って来たのかを振り返ってみたいと思います。

私どもの活動の拠点は地域です。そして職場のはずです。地域の防災力の向上と、災害時における支援活動に取り組む市民等への支援を通じて、安全で安心な社会の実現を目指すとした防災士の使命を思い出しながら、再度、私どもの活動のあり方を見つめ直すことが必要です。

“助けられる人から、助ける人へ”です。

“逃げどき、逃げどころ”を住民にどう伝えどう知らせるのか。そのために事前に何をすれば良いのか。私ども防災士会会員はその中心になり得ているのか。今後の活動では、常に意識していきたいと思えます。まずは、地域（自治会・自主防災組織）での地区防災計画（地区災害対応マニュアル）作りを県下で進めて行きたいと考えています。

地道な取り組みになりますが、ともに頑張っていきましょう。



岡山県真備地区 被害の様子（8月15日）

活動報告

■2018年(平成30年)7月～11月の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数、備考
7/7(日)	自主防災訓練「家具固定」	橿原市	橿原市内膳町自主防災会	85人
7/8(日)	曾爾村防災訓練 「アルファー化米給水サポート、三角巾、ロープワーク」	曾爾村	県委託支援事業	50人
7/9(月)	都祁中学校地震対応訓練	奈良市	奈良市立都祁中学校	123人
7/10(火)	明日香養護学校 PTAとしての 「災害に備える」	明日香村	奈良県立明日香養護学校	25人
7/14(土)	豪雨災害先遣派遣	岡山県	奈良県防災士会	19人
7/18(水)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
7/18(水)	川西小学校 校内安全点検	川西町	川西町立川西小学校	28人
7/19(木)	県社協豪雨災害ボランティアバス	倉敷市	県社会福祉協議会	18人
7/20(金)	災害支援物資(靴下)発送作業	総社市へ	総社市ボラセン	
8/3(金)	県社協豪雨災害ボランティアバス(3回)	倉敷市	県社会福祉協議会	21人
8/4(土)	お天気フェア	奈良市	奈良市防災センター	68人
8/5(日)	奈良県防災総合訓練	田原本町	県防災統括室	90人
8/6(月)	県下教諭向け講演	奈良県	奈良県教育委員会(保健体育課)	80人
8/8(水)	防災講習会 「南海東南海地震及び地球温暖化に伴う異常気象について」	十津川村	十津川村教育委員会	30人
8/18(土)	災害支援活動	倉敷市	奈良県防災士会	28人
8/19(日)	太田地区役員対象防災訓練 「講演、バケツリレー、倒壊家屋からの救出、タンカ搬送」	葛城市	太田地区	23人
8/19(日)	葛城市防災会員スキルアップ研修 「タイムライン」	葛城市	葛城市防災士会	35人
8/21(火)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
8/24(金)	NHKラジオ「台風20号の状況」出演		NHK奈良放送局	
8/25(土)	天理市自主防災組織研修会	天理市	天理市総務部防災安全課	120人
8/25(土)	講演「自主防災組織の活動の進め方」 子供向けイベント、停電を想定した炊き出し訓練	三郷町	三郷町	120人
8/28(火)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
8/28(火)	HUG&被災地体験談	奈良市	奈良教育大学 ボランティアサポートオフィス 学生スタッフ	30人
9/2(日)	太田地区防災訓練(タイムライン)	葛城市	太田地区	70人
9/8(土)	講演 「災害時の介護施設におけるスタッフの対応と利用者さんの備え」	三郷町	小規模多機能ホーム萌の里	16人
9/9(日)	広陵町六道山地区防災訓練	広陵町	六道山自主防災会	80人
9/9(日)	脇田地区防災訓練 (土嚢作り、タイムライン、講演)	葛城市	脇田地区	34人
9/15(土)	災害支援活動	倉敷市	奈良県防災士会	21人
9/18(火)	保育士・幼稚園教諭を目指す方向け 防災学習	奈良市	奈良保育学院	130人
9/22(土)	第15回関西広域連合協議会	大阪市	関西広域連合協議会	35人
9/25(火)	NHKラジオ第一放送「関西ホットライン」		NHK大阪放送局	
9/26(水)	公明党葛城支部党支部会研修会(HUG)	葛城市	公明党葛城支部	40人
9/28(金)	地域作り講座 防災講演会	天理市	天理市立 朝和公民館	20人
9/30(日)	防災フェスティバル 橿原市(内膳町)家具転倒防止	橿原市	内膳町防災会	85人

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数、備考
10/2(火)	地域のリーダーとして防災力を身につけよう「講演と簡単な実技」	斑鳩町	J Aならけん郡山・生駒地区女性部	27人
10/10(水)	①日本防災士会常任理事会 ②日本防災士会理事会	東京都	日本防災士会	
10/13(土)	本部スキルアップ研修「地区防災計画」	大阪市	日本防災士会	90人(県7名)
10/14(日)	防災士養成講座	橿原市	奈良県安全安心まちづくり推進課	255人
10/14(日)	御杖村防災訓練 「アルファ化米給水サポート、簡易担架、三角巾」	御杖村	県委託支援事業	90人
10/14(日)	柿本地区防災訓練	葛城市	柿本地区	45人
10/25(木)	地区防災会議推進会議	東京都	日本防災士会	
10/21(水)	N H K ラジオ第一放送「関西ホットライン」		N H K 大阪放送局	
11/3(祝)	地域の避難所体験訓練 「校区内避難訓練・実技研修」	御所市	御所市立名柄小学校	130人
11/4(日)	県アドバイザースキルアップ	農協会館	奈良県安安課	—
11/10(土)	三宅町小学校防災研修	三宅町	三宅小学校	350人
11/11(日)	當麻地区防災訓練	葛城市	葛城市當麻地区	30人
11/17(土)	避難所実体験型訓練(人間HUG)	桜井市	桜井市ポ連	150人
11/18(日)	石見地区防災訓練	三宅町	石見自主防災会	120人
11/23(土)	関西支部連絡協議会 研修会	和歌山県	関西支部連絡協議会	5人
11/24(土)	葛城市防災訓練	葛城市	葛城市	250人
11/25(日)	香芝市穴虫地区防災訓練 「避難訓練・簡易担架他」	香芝市	県委託支援事業	220人
11/25(日)	都祁地区「HUG」訓練	奈良市	都祁地区自主防災防犯会	20人
11/28(水)	公明党葛城支部党支部会研修会(HUG)	葛城市	公明党葛城支部	28人



10/14 三角巾の使い方(御杖村)



11/3 簡易担架(御所市)



11/3 三角巾の使い方(御所市)

■奈良県安全安心まちづくりアドバイザー派遣

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数、備考
6/26(火)	阪手北老人クラブ防災講座	田原本町	阪手北老人クラブ	26人
7/1(日)	尺土防災訓練準備会議講演会	葛城市	尺土自主防災組織協議役員会	60人
7/2(月)	右京地区自主防災 HUG 訓練	奈良市	右京地区自主防災・防犯協議会	61人
8/27(月)	自治会でできる災害対策 (風水害、土砂災害、地震等)	香芝市	奈良県自治連合会	70人
9/2(日)	HUG(避難所運営ゲーム)研修	奈良市	富雄南連合自治会防犯・防災会	50人
9/9(日)	防災講演(地震)	奈良市	奈良市西登美ヶ丘二丁目自治会	16人
9/9(日)	あやめ池南7・8丁目防災講習	奈良市	あやめ池あしびヶ丘自治会自主防災	16人
9/15(土)	各自治会における防災活動について	奈良市	奈良市あやめ池地区自治連合会	60人
10/14(日)	「災害発生時の避難所体制について」	明日香村	明日香村檜前緑ヶ丘自治会	25人
10/21(日)	奈良市帝塚山地区総合防災訓練 「防災紙芝居」	奈良市	帝塚山地区自主防災・防犯会	300人
10/27(日)	「避難経路での注意事項と搬送方法」	桜井市	桜井市立大三輪中学校	25人
10/28(日)	防災を考える会「あなたの防災対策」	奈良市	地域の有志ボランティアの会	30人
10/28(日)	防災勉強会	田原本町	平野地区防災勉強会	30人
11/11(日)	防災についての知識(子ども向け)	田原本町	田原本町社会福祉協議会	
11/18(日)	防災講演 「災害から自らの命と地域を守る」	天理市	勾田町自治会 勾田町自主防災組織	90人



9/2 HUG(奈良市) サテライト方式：集会室・会議室・図書室で同時進行

自治会長ばかりのグループや女性ばかりのグループも設置して検証

→ひとつひとつの対応に時間が掛かるようで、避難所運営には多くの立場の方の目線が必要である事が明確に

■連続講座 県婦人会館防災研修

月/日(曜)	イベント、派遣内容	場所	参加人数
7/19(木)	①西日本豪雨被災地状況②災害時要支援者について ③車椅子体験	農業振興会館	6人
8/2(木)	①災害時の食を考える②防災かまどベンチ(実技)	平群町中央公民館	5人
8/30(木)	①帰宅困難者疑似体験 ②同体験を振り返って	農業振興会館	5人
9/6(木)	①西日本豪雨・現地で学んだこと②地域防災事例の紹介 ③講座を終わるに当たって	農業振興会館	6人
10/4(木)	①開講式②災害に備える(基本)③(地震)	農業振興会館	9人
10/18(木)	①過去の災害から学ぶ ②小技(毛布、リュックサック、ゴミ袋)	農業振興会館	10人
10/28(日)	婦人会館 県内防災研修会(HUG)	県内(橿原市内)	8人
10/31(水)	婦人会館 県内防災研修会(HUG)	県内(奈良市内)	8人
11/1(木)	帰宅困難者疑似体験	奈良市内→農業振興会館	8人
11/15(木)	①災害時要支援者②車椅子体験	農業振興会館	8人

■桜井市で避難所実体験型訓練（人間HUG）

11月17日（土）桜井市図書館において避難所実体験型訓練（通称：人間HUG、主催：桜井市ボ連）が行われました。参加者は桜井市内のボランティア連絡協議会会員を中心に150名です。この訓練は、避難所運営ゲームHUGを図上ではなく、参加者が実際の避難者になり様々な課題について実体験をするもので、今年で2回目の開催となります。

参加者は、最初に訓練主旨説明を受け、当初から避難所運営を体験するグループ、途中から避難所にたどり着いたグループ、車椅子で会場に到着するグループ、タンカで避難所に運びこまれるグループ等、4つのグループに別れて避難所体験しました。また、今回は、参加者全員が避難所内で“今、なにが起こっている”のかを共有できるように会場スクリーンに課題を映し、全員で協力し合うことを目標に行われました。



テープを貼って通路設定。余震だ！シェイクアウト！

防災士会からは20名が参加し、各グループのリーダーや避難所での課題を持ち込む者（クレーマー）に扮して、より実際の避難所に近い雰囲気を経験できるように行いました。避難所運営に携わった参加者からは「俺の所へ文句ばかり言ってきたのは防災士の人やったんか」「良い経験させてもらったわ」の声が聞こえるなどリアルな中にも楽しい訓練となりました。最後には、クレーマー役を引き受けた防災士を含めて防災士全員の紹介を行い、大川防災士と桜井市危機管理課水野課長の講評を受けて訓練を終了しました。

（報告者：植村信吉防災士）



手話通訳さん→

いろいろな人が避難してきます。



ケガ人が運びこまれてきた。応急手当の担当は？

災害支援活動

西日本豪雨災害支援ボランティアに参加して

<防災士 八幡領光隆>

<9月15、16日真備町支援>

被災地に到着してバスを降車すると同時に感じた臭気。町全体を漂っているようである。河川氾濫によって町を埋め尽くした土砂はほぼ撤去されていたが、この“におい”は洪水によってもたらされたものなのか、その後の消毒散布によるものなのか。災害ボランティア初陣の私にとって、想像していなかったことがいきなり現れた。ボランティアミニサテライトでは支援を求めている方とボランティアとを繋ぐコーディネートがなされ、我々奈良県防災士会は3班に分かれ被災家屋へ散っていく。

私はチームのタイムキーパー係。つまり、ボランティアの体調維持に欠かせない休憩を指示する役目。

現場に到着するとチームリーダーより、壁落とし、高圧洗浄機による洗浄、床下の泥出しの分担を指示され作業を着手。借り受けたバールやほうき、洗浄機を手に黙々と作業を進める。床はすでに剥がされており、合板を並べて足場を確保。移動も慎重、梯子や脚立も安定を十分確認しないと転倒して怪我をする可能性もある。

途中、家主さんが訪れてこられ、欄間の土壁はがしという要望に応えることに。高い位置なので身軽そうな私とほか一名で担当する。

休憩は他の団体にも声を掛けて合同で取るように努め、スナックや飴を分け合ってちょっとした交流を図る。聞くと参天製菓の労働組合員で西日本各地から集まったとのこと。中には奈良県生駒市の学研奈良地域にお勤めの方もおられ、お互いびっくり。

家主さんとも会話したところ、亡くなられた方、助かった方の話を聴くことに。

その中にはテレビなどの報道で避難情報が発令されているにも関わらず、逃げようとしていない方、家族からの電話での説得によようやく応じて避難する方の話があった。

避難しなければならない危険が迫っているような状況に対し、自分には災害が襲ってこないだろうと根拠もなく大丈夫とってしまうこと。これを「正常性バイアス」という。

他にも、近隣の方が避難行動を行っていないので自分も行動しないこと。これを「多数派同調バイアス」という。避難を呼び掛けられているのは実は自分自身である、と認識していただくには、テレビのアナウンスでは不足なのであろう。家族や知り合い、近隣の方々の助けが必要になる。普段からの地域の絆、コミュニティカが人命を救う。



黙々と作業を進める



もし自分の家だったら？ 果たして片付けようという気持ちになれるのだろうか。



バスの車窓から。窓は全て開け放たれて家屋の乾燥が続く。田は稲に代わって雑草が伸びる。

今回のボランティア活動は家屋、家財といった財産被害に対する支援活動であったが、つい二ヶ月前にこの地域で多くの人命が失われた事実を胸に活動された防災士はいただろうか。財産は再建可能だが、残された住民の被災された心の再建も望まずにはいられない。

<活動詳細>

1班（植村班）ヤングチーム

2日間とも同じ家屋で壁はがし、泥出し、高圧洗浄、窓や柱などの拭き掃除。

2班（早稲田班）精鋭チーム

15日（土）午前中は末田班と同現場で家財搬出作業、15日午後と16日は土壁落とし作業

3班（末田班）中堅・軟弱チーム

解体予定の家から家財一式搬出作業



ミニサテライトのコーディネート担当は奈良県の社協職員でした

9月15日（土）新田ミニサテライトから徒歩で現場へ移動。

15日午前中は早稲田班と15名で家財搬出作業。

午後から末田班10名で、まず一階の家財を搬出。

すべて処分の指示が出ていたが、現金硬貨とアルバムがあったので作業終了後にサテライトに届けた。

搬出の軽トラック3台が次から次へと来たので、搬出と積み込みが非常に忙しく、大変な作業となった。

庭も含めて家財が多く、10名で二日間の作業が残るとサテライトへ報告。

9月16日（日）末田班10名は昨日と同じ現場の続き。

2階の家財を降ろすところから始めた。

今日は逆に搬出の軽トラックが1台で、二階からの下ろしもあったので、時間配分はちょうど良かったが、お昼前に若い一般ボランティア10名が合流して、庭も含めて一気に作業が捗った。来るのがわかっていれば2階を残しておいたのだが・・・。

今度はトラックが足りなくて、家の前に家財が山積みになり、サテライトへトラック増車の依頼。

午後からトラック増車で、すべての家財の搬出を終了した。

暑い中、軟弱チームは昨日の疲れも残って大変だったが、若いボランティアの合流で無事完了。この家担当の民生委員さんも来られて喜んでいただいた。

今後の活動予定

■ 定例研修会

2月2日（土）15:00～17:30

会場：“かんぼの宿 大和平群” 〒636-0905 奈良県生駒郡平群町上庄 2-16-1

講師：川口均 工学博士

内容：南海トラフ巨大地震への備え～奈良県編～

■ 懇親会

2月2日（土）18:00～20:00

会場：“かんぼの宿 大和平群” 〒636-0905 奈良県生駒郡平群町上庄 2-16-1

会費：5,000円

★懇親会に参加される方は、出欠ハガキに必要事項をご記入のうえ、期日までに奈良県防災士会までご返送ください。会場収容人数の都合上、ご希望に沿えないことがあります。ご了承ください。

■奈良県防災士会 総会・研修会・懇親会

●5月26日(日)

会場：奈良市内を予定

場所、時間、議案、研修会内容等の詳細は、会員様宛てに発送する予定です。

詳細が決まり次第ホームページでも告知します。

奈良県防災士のキャップ 好評販売中！

皆さまからの熱いご要望にお応えして、奈良県防災士のキャップが頒布品に加わりました。

優れたドライ機能とUVカットが嬉しいポリエステル100%メッシュ素材です。

フロントに防サイくんをデザイン、サイドに「奈良県防災士会」の名称入り。

○頒布価格 1,500円(税込)

○カラー 緑(奈良県防災士のベストと同色)

○サイズ フリー(サイズ調整可能)



デザイン画

防災士ベスト好評販売中！

左胸に「NPO法人 奈良県防災士会」の名称を入れた、防災士ベストを販売しています。

「NPO法人 日本防災士会」の頒布ベストよりお得にご購入いただけます。ぜひご利用ください。

○頒布価格 2,500円(税込)

○カラー 緑(1色)

○サイズ F(L)、XL、XXL(3サイズ)

●一部の研修会場などで販売しています。

会場へお越しの際にお買い求めください。

●郵送・通販形式での販売及び、取り置きは行っておりませんのでご注意ください。



着用例：サイズF(L)(身長160cm)

サイズ	F(L)	XL	XXL
着丈	69	72	75
身幅	56	59	62

(単位：cm)

事務局からのお知らせ

奈良県防災士のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、

「奈良県防災士会」で検索！

奈良県防災士のウェブサイトで、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしています。

スキルアップのための見学が可能です。見学を希望される登録防災士は、「連絡先」に記載のある担当防災士に連絡の上、ご参加ください。皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております！

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

●送り先 mail@bousainara.com

●テキストおよび写真(肖像権など差支えないもの)をお送りください。



奈良県防災士のFacebookをスタートしました！さまざまな情報をアップしていきます。「いいね！」をよろしくお祈いします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

■発行日 2019年1月1日
■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 植村信吉
〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬 1-5
■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com
■TEL 080-1528-0901
■ウェブサイト <http://bousainara.com>
■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>